

2017～2018年 活動報告とご案内 Annual report



ごあいさつ

小出スキー場は開設してから今年で65年を迎え、JR上越線沿線としては2番目に歴史のある公設スキー場です。人々に愛される中、2011年に公営での営業が打ち切りとなり、2012年から民営にて営業を行っております。

スノーパーク小出は、2013年3月に設立してから、小出スキー場の管理運営を5シーズン行い、皆さまからお預かりした会費や寄付金をもとに、現在大きな3つの柱を軸に、様々な企画・運営を行っております。地域になくてはならない場として、健全なスキー場運営を目指し、積極的に取り組む中、学校授業でのスキー場利用が年々増加しており、「教育の場」という位置づけが浸透してきております。

今年度、隣接する、見晴らしの湯こまみの一部管理運営を受託し、小出公園を含めた、一体的な活動の場としての方向性づけを進めております。

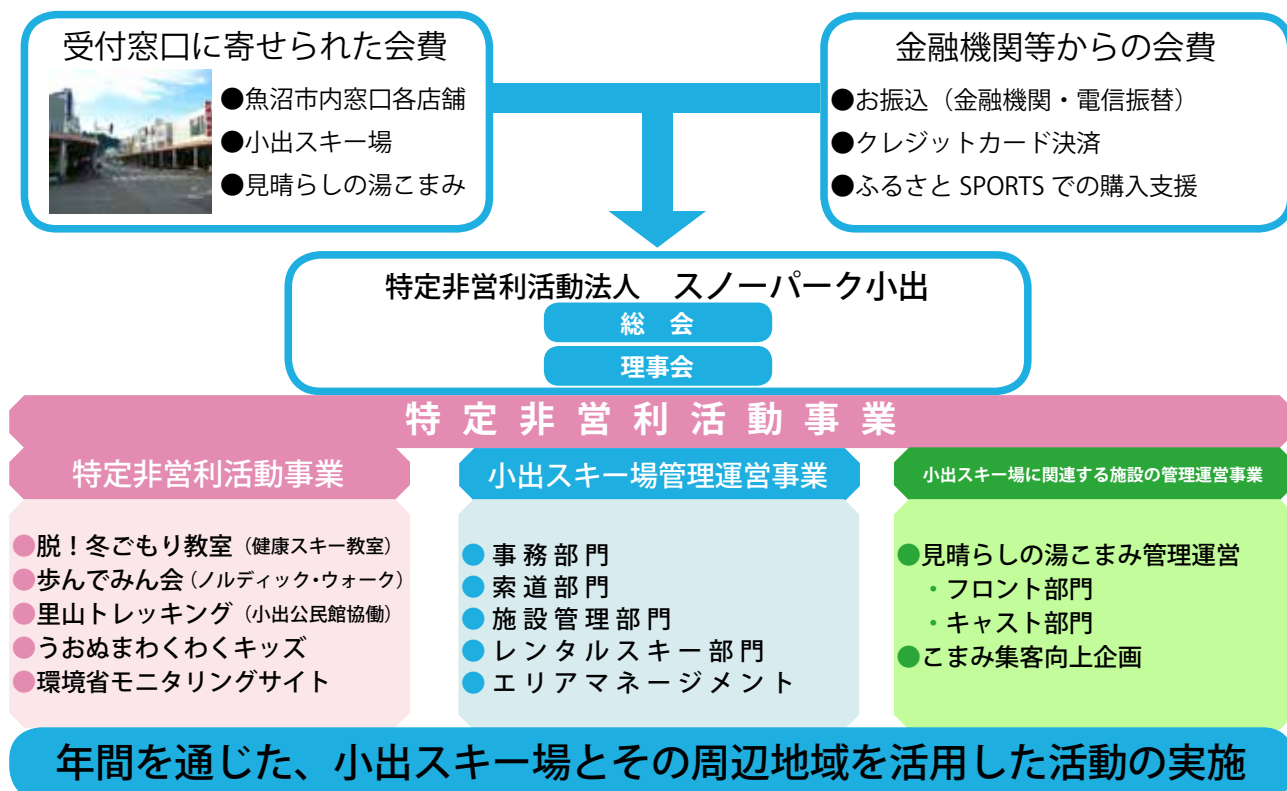
「特定非営利活動事業」では健康増進をはじめ、予防医学の観点で、ロコモティブ症候群の予防といった、現代社会特有の課題を解決できる活動を実施しております。



スノーパーク小出は、これからも会員の方をはじめ、さまざまな方と力を合わせて、活動内容の充実を図り、地域に根ざした様々な活動を展開してまいります。皆さまの継続したご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人スノーパーク小出
理事長 上村 伯人
(医療法人社団 上村医院 院長)

会費の流れと事業図



地域に必要とされる「屋根のない体育館」として

営業開始から気温の低い状態が続いたことや、良質でまとまった雪に恵まれ、3年ぶりに予定日通りの営業を行うことができ、大きな事故や怪我なく、冬のシーズンを終えました。

年末年始や土日にはご家族連れやスポーツ少年団等のスキー教室で賑わい、平日においては県内外の小中高等学校からご来場いただいたほか、年齢層別や性別ごとに特典を設けたリフト券販売によって新たな一般の方からご来場いただきました。

今年度、利用者への利便性向上のため、クレジットカード決済や電子マネー等を活用したキャッシュレス化の導入、雪やフィールドを活用したイベントをスキー場で企画・実施したことにより、入り込み数としては平成26年シーズンに次ぐ数となりました。また、電力会社の変更やスタッフ配置の見直し等、コスト削減にも積極的に取り組み、当法人が運営を行ってから、スキー場運営として初めて剰余金を次年度へ繰り越しました。



小出スキーカーニバル

2018年2月3日、小出雪まつり実行委員会主催で、小出スキーカーニバルを実施いたしました。お昼の部から、ゲレンデには模擬店が広がり、子ども向け、大人向けの宝探し大会を行いました。また、夜の部はたいまつ滑降や川西商工会による塞の神、雪上花火を行い、約900名と多くの方からご来場いただきました。



学校授業でのご利用

2018年1月11日から、地元小中高等学校をはじめ、市外・県外の小学校の計17校、延べ約6,200名の方からスキー授業・かんじき体験でご利用いただきました。

今シーズンは安心安全なリフト乗車を知っていたくため、リフト乗車の動画を作成し、配布を行い、スキー授業の円滑なサポートを行いました。

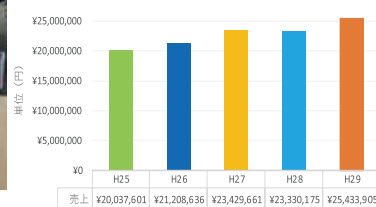


5年間のスキー場事業収入推移

2013年（平成25年）の法人での運営開始から様々な取り組みを行い、2018年度（平成29年度）は、運営開始以来、最大の収入となりました。しかしながら平成31年以降の索道施設・圧雪車の夏季整備点検費用まで確保しきれていないのが現状です。



小出スキー場管理運営事業収入推移



ご報告

小出スキー場に関連する施設の管理運営事業

見晴らしの湯こまみを含めたエリア一帯の管理へ

小出スキー場に隣接する施設として、魚沼市が直営で運営を行っている「見晴らしの湯こまみ」についての勉強会や連携に向けた検討会を平成29年8月から開始いたしました。その後、前述の小出スキー場管理運営の中で含めた、索道設備・圧雪車の夏季点検整備の目処が立たないまま、運営に関わることは難しいという意見が生まれ、その流れから10月18日に早期な回答を出していただけるような記載をした要望書を提出いたしました。

その後、平成30年4月からの一部運営に向けての提案があり、それを踏まえ、2月に運営の一部を委託事業として、理事会承認のもと4月1日から業務を受託し、事業を開始いたしました。

4ヶ月を経過した中、季節ごとのイベントや変わり湯といった様々な企画、酒類の販売、地元農産物の販売などの取り組みをはじめ、スタッフ間のコミュニケーションを密に取りはじめたことで、接客態度の向上や、雰囲気が明るくなったといった声を頂いているほか、入り込みにも変化が見られるようになってきました。



こまみ



様々なイベントや企画の実施

連休や、毎月26日（ふろの日）前後で山菜の販売や地元野菜の陳列、軽食類の提供を行いました。浴場では、季節に沿った自然物を活用した変わり湯を開始しております。今後もこの企画は継続して行っていきます。



入館時の満足度向上

ご来館される方が滞在により楽しんでいただけることを目的として、酒類の提供、ドリンクバーの提供を開始いたしました。その他、マッサージルームの設営、コミックコーナーの設置などより楽しんでいただけるような企画を行っております。



今後について

冬季間より、小出スキー場と連動させた企画を実施してまいります。見晴らしの湯こまみでのリフト券の購入やスキー場とのイベント連動、また、平成31年に計画されている大規模改修をより効果的なものとするため、法人としての意見を提案し、持続できる経営体制づくりを目指します。



健康増進・青少年育成・環境保全を軸とした活動

通年小出スキー場・小出公園を活用した事業を行ってまいりました。健康増進を図る活動は、小出公民館との共催や、厚生労働省の補助を受け、冬は健康スキー教室、夏はトレッキング及びノルディックウォークでの活動を実施いたしました。また、参加者意見から生まれた小出市街地でのウォーキングも行いました。

青少年の健全な育成を図る活動として、冬季間の毎週末は、屋内・屋外の自然体験活動を実施し、地域の自然環境に触れていただきました。特にご家族を中心とした参加が目立ち、子どもたちの活動の場としての認識が今まで以上に高まってきたと感じます。併せて、地元農家さんやシェフ、自然関係団体、機材メーカーとの連携した活動としても定着が図れるようになりました。

環境の保全を図る活動としては、環境省モニタリングサイト1000の登録サイトとして、植物・チョウ類の調査をボランティアと開始いたしました。そして、5年目を迎えたスキー場の清掃活動には、100名の方からご協力をいただきました。



脱！冬ごもり教室、歩んでみんな会

通年を通して毎週木曜日に健康づくりの活動を行いました。5年目を迎えた健康スキー教室「脱！冬ごもり教室」は延べ251人の方からご参加いただき、ノルディック・ウォークでの健康づくり「歩んでみんな会」は延べ256名の方からご利用いただきました。食事会や番外編の山歩きなど活動の範囲が広がりつつあります。



新緑から雪上まで体験の場を提供

うおぬまわくわくキッズは無積雪期の小出スキー場を活用し、計3回で延べ86名の小学生と保護者の方からご参加いただきました。

この他、スキー場ゲレンデを活用して冬季の火おこし体験や、5年目となるTV局主催によるスキーツアーを受け入れ、キャンセル待ちが発生するほどにツアーが成長いたしました。



ボランティアとともに植物調査を実施

2018年4月から環境省モニタリングサイト1000里地里山調査サイトとして小出スキー場を登録していただき、6月からボランティアの方とともに、植物相・チョウ類の調査を開始いたしました。

毎年実施を行っている、小出スキー場の清掃活動も5年目を迎え、毎年約100名の方からご協力を頂いております。



ご報告

2017年度（活動一覧）

日時	イベント名称	内容	参加人数等
9月7日～11月30日	歩んでみんな会 開始	ノルディックウォーク活動	延べ256名参加
9月23日	ノルディック・ウォーク体験会	小出公民館との共催	17名参加
10月7日	わくわくキッズ～秋～	イベント	34名参加
10月15日	社協ふれあい祭り	活動PR・体験会実施	小出ボランティアセンター
11月18日～19日	SnowJam2017-2018	スキー場PR・リフト券販売	新潟ふるさと村
12月23日～3月4日	今季スキー場営業開始		小出スキー場
12月28日～3月1日	「脱！冬ごもり教室」実施	中高齢者向けスキーレッスン	延べ251名参加
1月11日～2月28日	学校授業受け入れ開始	スキー授業、かんじき体験	全17校 延べ約6,200名
1月14日	新潟県スキーモニターツアー	小学生対象スキーレッスン	31名
2月3日	小出スキーカーニバル	たいまつ滑降・塞の神等	来場者数 約900名
2月3日～4日	新潟県スキーモニターツアー	スノーボードレッスン	11名参加
2月11日	BSNキッズスキーツアー	小学生スキーツアー	39名参加
3月3日	雪上火おこし体験	雪上火おこし体験	24名参加
3月4日	今季営業最終日		全来場者数 21,870名
4月1日～	見晴らしの湯こまみ 運営開始	運営と管理の一部受託	
4月11日～	変わり湯	よもぎ湯・檜湯・菖蒲湯等	毎月26日の一週間実施
5月3日～6日	こまみ春まつり	山菜・調理品の販売	見晴らしの湯こまみ
5月4日	小出スキー場清掃活動	清掃活動	約100名参加
5月17日～7月26日	「歩んでみんな会」第1クール	ノルディック・ウォーク定期活動	全20回 延べ142名参加
5月25日～	書籍コーナー設置	コミック・書籍の設置	見晴らしの湯こまみ
6月3日	うおぬまわくわく☆キッズ 春	じゃがいもの植え付け	22名参加
6月3日	ノルディック・ウォーク体験会	ノルディック・ウォーク	小出スキー場
6月27日～	リラクゼーションコーナー設置	マッサージの提供開始	見晴らしの湯こまみ
6月27日～	農産物の提供開始	スイカ・米・野菜など	見晴らしの湯こまみ
6月30日	こいでのたからみっけ隊	小出スキー場周辺自然調査	1回目 4名参加
7月4日～	酒類提供・ドリンクバー開始		見晴らしの湯こまみ
7月1日	七夕イベント	短冊記入イベント実施	見晴らしの湯こまみ
7月14日	公衆無線LAN設置設置	無料Wi-Fiの設置	見晴らしの湯こまみ
7月25日	こまみ実習室開放	学習ルームの開放	見晴らしの湯こまみ
7月28日	うおぬまわくわく☆キッズ 夏	星空観察会	30名参加
7月29日	こいでのたからみっけ隊	小出スキー場周辺自然調査	2回目 7名参加

小出スキー場管理運営事業

特定非営利活動事業

小出スキー場に関連する施設の
管理運営事業

平成29年8月1日～平成30年7月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		未 払 金	1,497,181
現 金	154,160	前 受 金	8,000
預 金	88,005	預 り 金	27,966
現金・預金 計	242,165	未払法人税等	70,000
（棚卸資産）		流動負債 計	1,603,147
商 品	49,125	【固定負債】	
棚卸資産 計	49,125	長期借入金	4,376,000
（その他流動資産）		固定負債 計	4,376,000
前 払 金	2,000	負債合計	5,979,147
前払 費用	114,800	正 味 財 産 の 部	
立 替 金	1,000	【正味財産】	
その他流動資産 計	117,800	前期繰越正味財産額	△ 6,702,956
流動資産合計	409,090	当期正味財産増減額	1,785,387
【固定資産】		正味財産 計	△ 4,917,569
（有形固定資産）		正味財産合計	△4,917,569
什器 備品	415,680		
有形固定資産 計	415,680		
（無形固定資産）			
ソフトウェア	236,808		
無形固定資産 計	236,808		
固定資産合計	652,488		
資産合計	1,061,578	負債及び正味財産合計	1,061,578

法人概要

名 称	特定非営利活動法人 スノーパーク小出
理 事 長	上村 伯人（医療法人社団 上村医院 院長）
事 業 目 的	この法人は、地域のスキー文化発祥地の小出スキー場を利用し、スノースポーツの普及と振興を通じて、ふるさとである雪国の美しさと楽しさを子供たちに伝えるとともに、あらゆる年代が参加できる、多様な市民活動の場として、地域の活性化に寄与することを目的とする。 (定款第3条より転載)
事 業 内 容	(特定非営利活動) ① 小出スキー場の管理・運営に関する事業 ② スキーカーニバルなどイベント運営に関する事業 ③ スノースポーツの普及と競技力向上に関する事業 ④ 健康増進に関する事業 ⑤ まちづくりの推進に関する事業 ⑥ 小出スキー場に関連する施設の管理運営事業 ⑦ その他、目的達成に必要な事業 (定款第4条より抜粋)
事 業 資 金	受付窓口に寄せられた会費と寄付金、行政・民間機関からの委託金・補助金・助成金、活動剰余金 他
設 立 日	2013年（平成25年）3月20日
法人格取得日	2013年（平成25年）7月18日



特定非営利活動法人

スノーパーク小出

<https://www.sp-koide.org>

〒946-0043 新潟県魚沼市青島1609

TEL：025-792-5320 FAX：025-795-6622

info@sp-koide.org

